

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月31日
2次評価日（課長等）	31年3月31日

1 事業名	企画展等開催事業	コード	111117
-------	----------	-----	--------

2 担当部課	部等	産業振興部	課等	ブランド推進室	作成者	小林 隆
--------	----	-------	----	---------	-----	------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政策	文化・スポーツの振興	施策	文化・芸術の振興
		予算科目	企画展等開催事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	魅力ある企画展及び収蔵品展の開催により、集客力を高めるとともに、シルク文化の歴史や文化について発信する。		
目的	対象者	市民及び来館者	
	意図	蚕糸業の歴史の伝承、郷土愛の醸成、市民の文化芸術の振興、シルクおかやの発信	

5 事業の実施内容	*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>1 企画展 『自然の色を纏（まと）う ～吉岡幸雄の世界 源氏物語の彩（いろどり）～』 会期：平成30年4月19日（木）～5月27日（日） 入館者：4,934人 協力：染司よしおか 紫紅社 イベント：ギャラリートーク3回 550人／染め講座 2回 30人</p> <p>2 収蔵品展 『ハカル。～カイコも繭も糸もハカル～』 会期：平成30年6月21日（木）～9月2日（日） 入館者：6,216人 協力：東洋計器株式会社 イベント：講演会・ギャラリートーク 1回 62人／ワークショップ3回46人</p> <p>3 企画展 『皇室のご養蚕とシルク岡谷』 会期：平成30年9月6日（木）～11月5日（月） 入館者：5,519人 協力：宮内庁・大日本蚕糸会・東京農工大学科学博物館 イベント：講演会・ギャラリートーク1回 50人／「小石丸（こいしまる）」の飼育体験4回 75人／水引（みずひき）の飾りづくり1回 44人</p> <p>4 収蔵品展 『中国古代復元絹織物 ～絹がつづる王朝染織の美と技～』 会期：平成30年11月8日（木）～平成31年4月14日（日） 入館者：8,258人 協力：蘇州絲綢博物館 イベント：ギャラリートーク2回22人／ワークショップ2回 58人</p>			
前年度の課題への対応	シルクに関連した創作、ものづくり、ファッション等を切り口とした企画展等を企画し広くPRに努めた。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	企画展、収蔵品展の開催日数			単位	日
実績値	334	253	265		
*指標の説明	企画展、収蔵品展の開催日数				
② 成果指標（指標名）	1日当りの入館者数			単位	
目標値	100	100	100	100	
実績値	131	114	94		
達成度	131.0%	114.0%	94.0%		
*指標の説明	企画展、収蔵品展会期中の1日当りの入館者数				
*目標値の設定方法の説明	入館者推計の目標値における1日当りの入館者数				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	3,214,903	3,082,261	2,799,713	2,000,000
経常経費	407,314	0	0	0
臨時的経費	2,807,589	3,082,261	2,799,713	2,000,000
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト(①+②)	11,214,903	11,082,261	10,799,713	10,000,000
前年度比		98.8%	97.5%	92.6%
財源	11,214,903	11,082,261	10,799,713	10,000,000
一般財源				
内訳	0	0	0	0
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	25,172	31,621	30,189	
前年度比		125.6%	95.5%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 82.5%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 94.0%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) シルクの魅力を広く伝え、多くの市民に興味を持っていただける企画展の開催。	
	改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) ・開館5周年を記念した企画展の開催。 ・来館者の声等や関心の高い内容や、他の美術館・博物館の展示会及び関連イベントの情報を収集、分析するなかで魅力ある企画展を開催する。
改善開始時期		平成31年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---